別添2 評価の枠組み

評価対象： 教育関連 MDGs の達成に向けた日本の取り組み（別添資料1 参照）	評価対象時期：2000 年度～2004 年度 （但し、政策については1990 年度～2004 年度）
<p>(1) 学校教育、ノン・フォーマル教育、関連サブセクター、初等教育関連サブセクター、並びに教育政策・制度の課題に対する取り組み （別添体系図の実線枠内の取り組み） = 全途上国を対象にデータを整理・分析、サンプル国については個々の具体的アプローチの妥当性、適切性・効率性、有効性についても分析を行う。両方の分析から教訓・提言を取りまとめる。</p> <p>(2) 社会経済活動支援、関連インフラ整備、並びに関連政策の課題に対する取り組み （別添体系図の点線枠内の取り組み） = 「教育関連 MDGs 達成」への間接的な貢献を目指すことが当初から予定されていた事業、または実施した結果、「教育関連 MDGs 達成」に大きな貢献が認められた事業についてのデータを整理・分析するとともに、一部の事例を取り上げ、ベスト・プラクティスとして、その適切性・効率性、有効性、インパクトについて分析を行い、教訓・提言を取りまとめる。</p>	

評価視点	評価項目	評価内容・指標	情報収集先／情報源
I. 目的	妥当性	1. 日本の「教育関連 MDGs 達成」に関連する援助政策（BEGIN 等）並びに教育関連分野の取り組みは 指標 1-1 日本援助の上位政策に照らして妥当であるか。どのような位置づけにあるか。 指標 1-2 （既存評価報告書において判断が可能な場合）被援助国政府の開発政策・戦略、教育政策・戦略に照らして妥当であるか。 指標 1-3 国際的潮流、他の主要ドナーの動向、ドナー協調の動向に照らして妥当であるか。 指標 1-4 教育関連 MDGs 達成の論理的流れに照らして妥当であるか。	◇文献調査 - 国連機関、世銀、他ドナーの MDGs 関連資料 - 外務省 MDGs 関連資料 - 外務省 BEGIN 等関連資料 - ODA 白書 ◇インタビュー調査 - 外務省、JICA、JBIC 関係者 - 学識経験者
		2. サンプル国における日本の「教育関連 MDGs 達成」に向けた教育関連分野の取り組みは 指標 2-1 日本の援助の上位政策に照らして妥当であるか。 指標 2-2 サンプル国政府の開発政策・戦略、教育政策・戦略に照らして妥当であるか。 指標 2-3 国際的潮流、他の主要ドナーの動向、ドナー協調の動向に照らして妥当であるか。 指標 2-4 教育関連 MDGs 達成の論理的流れに照らして妥当であるか。	◇文献調査 - ODA 白書、関連報告書 - 国別援助方針・計画 - サンプル国の教育開発計画、SWAP、PRSP、CCA/UNDAF - サンプル国の国家開発計画、地方分権化政策等主要政策 - 教育関連案件の評価報告書 ◇インタビュー調査 - 外務省、JICA、JBIC 関係者 - サンプル国教育省、財務省等 - 他ドナー、NGO 等
		3. サンプル国における日本の「教育関連 MDGs 達成」に向けた社会経済活動支援、関連インフラ整備、関連政策の取り組みは 指標 3-1 日本の援助の上位政策に照らして妥当であるか。 指標 3-2 サンプル国政府の開発政策・戦略、教育政策・戦略に照らして妥当であるか。 指標 3-3 国際的潮流、他の主要ドナーの動向、ドナー協調の動向に照らして妥当であるか。 指標 3-4 教育関連 MDGs 達成の論理的流れに照らして妥当であるか。	◇文献調査 - ODA 白書、関連報告書 - 国別援助方針・計画 - サンプル国の教育開発計画、SWAP、PRSP、CCA/UNDAF - サンプル国の国家開発計画、地方分権化政策等主要政策 ◇インタビュー調査 - 外務省、JICA、JBIC 関係者 - サンプル国教育省、財務省等 - 他ドナー、NGO 等
		4. 日本の「教育関連 MDGs 達成」に関する援助政策（BEGIN を中心に）策定について 指標 4-1 策定体制は適切であったか。 指標 4-2 基礎情報、手順、作業スケジュールは適切であったか。 指標 4-3 援助実施機関（JICA、JBIC 等）及び関係省庁との連携・調整は適切に行われたか。	◇文献調査 - BEGIN 策定関連資料・会合議事録 ◇インタビュー調査 - 外務省、JICA、JBIC 関係者 - 学識経験者
		5. 日本の「教育関連 MDGs 達成」に関する援助政策（BEGIN を中心に）及び教育関連分野の取り組みを実施するに当たって 指標 5-1 国内援助関係機関全体の実施体制は適切であったか。効率的、柔軟に運営されたか。スキーム間の連携は適切に行われたか。 指標 5-2 モニタリングは適切に行われているか。 指標 5-3 国際的潮流、ドナー協調に対して適切に対応したか。他ドナーとの連携はどうか。	◇文献調査 - BEGIN 関連資料 - MDGs 関連資料、モニタリング報告等 ◇インタビュー調査 - 外務省、JICA、JBIC 関係者 - 学識経験者

評価視点	評価項目	評価内容・指標	情報収集先／情報源
II. プロセス (続き)	適切性・効率性 (続き)	<p>6. サンプル国における日本の「教育関連 MDGs 達成」に向けた教育関連分野の取り組みについて</p> <p>指標 6-1 サンプル国に対する援助計画作成、具体的案件形成の際に「教育関連 MDGs 達成」への貢献は適切に考慮されたか。</p> <p>指標 6-2 サンプル国における日本の援助実施体制は「教育関連 MDGs 達成」のために適切であったか。</p> <p>指標 6-3 サンプル国における日本の「教育関連 MDGs 達成」への教育関連分野の取り組みに沿ってプログラムやプロジェクトを形成・実施する上で、サンプル国の教育政策や戦略の進捗状況とニーズは、適切に考慮・反映されたか。</p> <p>指標 6-4 NGO または民間はどのように活用されたか。</p>	<p>◇文献調査</p> <ul style="list-style-type: none"> - ODA 白書、関連報告書 - 国別援助方針・計画 - 国別援助実施計画等 - 教育関連案件の評価報告書 <p>◇インタビュー調査</p> <ul style="list-style-type: none"> - 外務省、JICA、JBIC 関係者 - サンプル国教育省、財務省 - 他ドナー事務所、NGO 等 - 学識経験者
III. 結果	投入 (インプット)	<p>7. 日本の「教育関連 MDGs 達成」に向けた援助実績 (全途上国について 2001 年度～2004 年度) (なお、1996 年度～2000 年度の援助実績の傾向に関し、既存資料・データを参照する)</p> <p>→ MDGs のターゲット指標毎の実績分類 (全途上国/重要課題に対する取り組み別/援助形態別/地域別/年次別)</p> <p>日本の「教育関連 MDGs 達成」に向けた (1) 教育関連分野の取り組み、(2) 社会経済活動支援、関連インフラ整備、関連政策の取り組みは</p> <p>指標 7-1 援助形態別に見てどのような傾向、特性があるか。</p> <p>指標 7-2 地域別に見てどのような傾向、特性があるか。</p> <p>指標 7-3 年次別に見てどのような傾向、特性があるか。</p> <p>指標 7-4 体系図の「重要課題に対する取り組み」から見て、どのような傾向、特性があるか。</p>	<p>◇文献調査</p> <ul style="list-style-type: none"> - 援助統計 - ODA 白書、関連報告書 <p>◇インタビュー調査</p> <ul style="list-style-type: none"> - 外務省、JICA、JBIC 関係者 - 学識経験者
		<p>8. 日本の「教育関連 MDGs 達成」に関する援助政策 (BEGIN を中心に) について</p> <p>指標 8-1 援助政策 (BEGIN 等) に示された基本理念、重点分野は、教育関連分野の取り組み (投入) にどのように反映されているか。</p> <p>指標 8-2 援助政策 (BEGIN 等) を反映して、国内体制整備や他ドナー連携にはどのような投入・成果が見られるか。</p> <p>指標 8-3 (既存評価報告書において判断が可能な場合) 日本の教育関連分野の取り組みの効率性、有効性、インパクト、自立発展性はどのように評価されているか。また、ベストプラクティス事例として、具体的にどのようなものが挙げられるか。</p>	<p>◇文献調査</p> <ul style="list-style-type: none"> - BEGIN 関連資料 - MDGs 関連資料、モニタリング報告等 - 教育関連案件の評価報告書 <p>◇インタビュー調査</p> <ul style="list-style-type: none"> - 外務省、JICA、JBIC 関係者 - 学識経験者
		<p>9. サンプル国における日本の「教育関連 MDGs 達成」に向けた援助実績 (可能な限り 1990 年度～2004 年度)</p> <p>→ MDGs のターゲット指標毎の実績分類 (重要課題に対する取り組み別/援助形態別/年次別)</p> <p>指標 9-1 援助形態別に見てどのような傾向、特性があるか。スキーム間の連携、相乗効果等はどうか。</p> <p>指標 9-2 国内地域別に見てどのような傾向、特性があるか。</p> <p>指標 9-3 年次別に見てどのような傾向、特性があるか。</p> <p>指標 9-4 体系図の「重要課題に対する取り組み」から見て、どのような傾向、特性があるか。</p>	<p>◇文献調査</p> <ul style="list-style-type: none"> - 援助統計 - ODA 白書、関連報告書 - 国別援助方針・計画 - 国別援助実施計画等 - 教育関連案件の評価報告書 <p>◇インタビュー調査</p> <ul style="list-style-type: none"> - 外務省、JICA、JBIC 関係者 - 学識経験者
有効性 (アウトプット)	<p>10. サンプル国における日本の「教育関連 MDGs 達成」に向けた教育関連分野の取り組みについて</p> <p>指標 10-1 初等学校施設整備対象校数及び建設・リハビリ教室数、対象校・地域の 1 教室当たり生徒数の変化、対象地域で整備された全教室数に占める日本の貢献。</p> <p>指標 10-2 女子、少数民族、障害児等の初等教育への参加推進を目的とした施設整備状況。</p> <p>指標 10-3 初等教育分野の養成教員数、再研修した現職教員数。</p> <p>指標 10-4 教科書、教材整備状況。</p> <p>指標 10-5 識字プログラム実施状況、参加者数、修了率 (年齢別)。</p> <p>指標 10-6 保護者・住民に対する女子教育 (初等・中等・高等教育) の重要性理解促進に関する啓蒙活動の実施状況。</p> <p>指標 10-7 女性対象識字教育プログラムの実施状況・参加者数・修了率。</p>	<p>◇文献調査</p> <ul style="list-style-type: none"> - 援助統計 - ODA 白書、関連報告書 - サンプル国の教育統計 - サンプル国の社会・経済統計 - 援助機関報告書・資料 - 教育関連案件の評価報告書 <p>◇インタビュー調査</p> <ul style="list-style-type: none"> - 外務省、JICA、JBIC 関係者 - 学識経験者 - サンプル国教育省 	

評価視点	評価項目	評価内容・指標	情報収集先／情報源
		指標 10-8 計画通りのアウトプットが達成できたか、できた場合、できなかった場合の要因、教訓はなにか。 指標 10-9 他ドナー、NGO の取組みとの相違点。	
Ⅲ. 結果 (続き)	アウトカム・インパクト	1 1. サンプル国における MDGs ターゲット指標達成見込み 指標 11-1 対象国・地域における初等教育就学者数、就学率（いずれも学年別・男女別）の変化 指標 11-2 対象国内の類似地域との比較から見た対象地域に対する日本の援助の貢献度 指標 11-3 対象国・地域における初等教育第 5 段階までの到達者数、到達率（いずれも男女別）の変化 指標 11-4 対象国・地域における 15-24 歳の識字プログラム参加者数・終了者数の変化、日本の援助の貢献度 指標 11-5 対象国・地域における 15-24 歳の識字率の変化（男女別） 指標 11-6 対象国・地域における中等・高等教育への進学者数、進学率、就学者数（学年別・男女別）、 指標 11-7 日本及び他ドナーの今後の援助計画に何か変化があったか。その要因は。 指標 11-8 相手国政府の今後の教育計画、予算措置、人材育成に対する貢献は見られたか。	◇文献調査 - 社会・経済統計 - 他ドナー報告書・資料 ◇インタビュー調査 - 外務省、JICA、JBIC 関係者 - 学識経験者 - サンプル国教育省、教育統計
		1 2. サンプル国における日本の「教育関連 MDGs 達成」に向けた社会経済活動支援、関連インフラ整備、関連政策の取り組みについて 指標 12-1 教育関連 MDGs にどのようなインパクトを与えたか。それは、当初より期待されていたか。 指標 12-2 （当初より期待されていた場合、）インパクトをあげるためにどのような工夫がなされたか 指標 12-3 （期待されていなかった場合、）インパクトにつながった要因は何か。	◇文献調査 - ODA 白書、関連報告書 - 援助実績資料、援助統計 ◇インタビュー調査 - 外務省、JICA、JBIC 関係者 - サンプル国教育省、財務省 - 学識経験者